

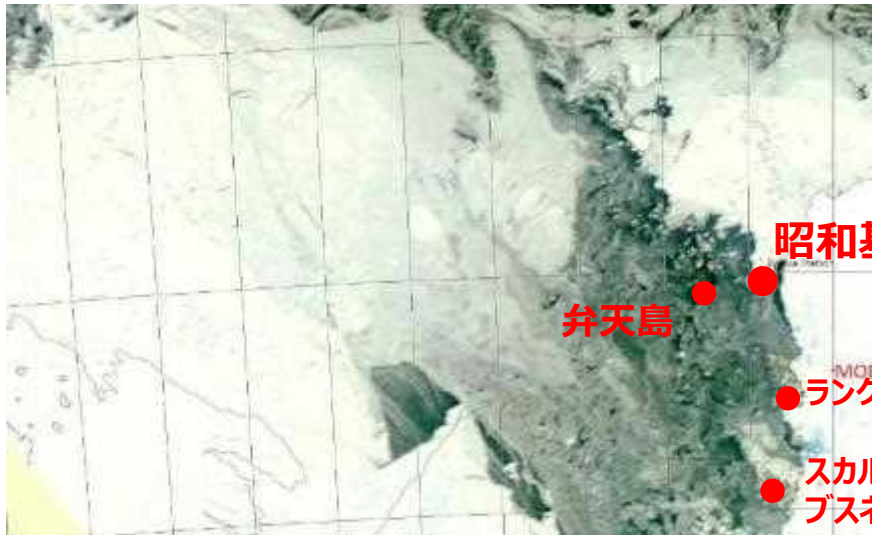
国立極地研究所・南極観測センター

第59次越冬隊及び国立極地研究所は、越冬期間中の野外活動計画や来夏の輸送関連計画の参考情報とするため、衛星画像データ、昭和基地における目視・空撮画像、そして気象データなどを用いた海氷状況の監視を行っている。

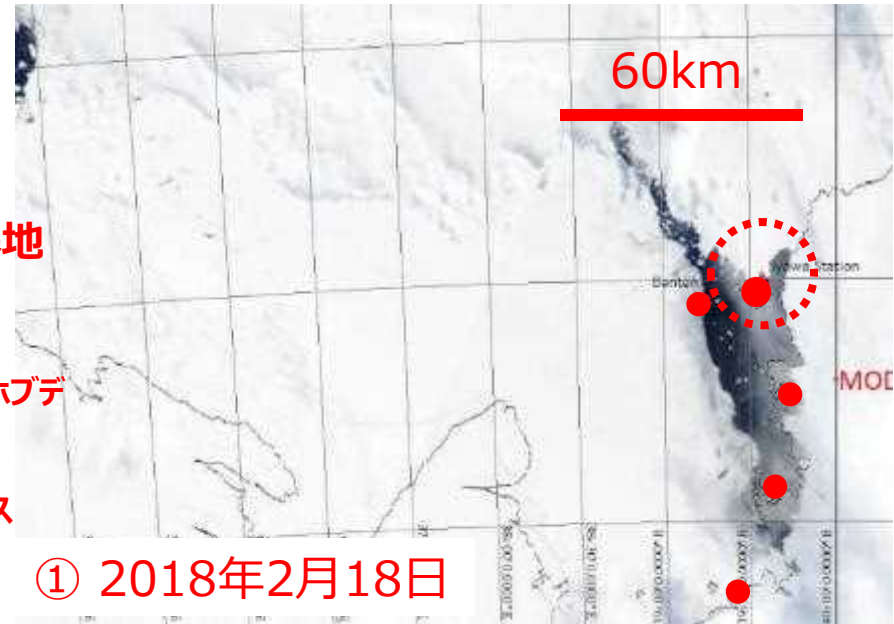
2018年の状況

- ① 5月までリュツォ・ホルム湾内の定着氷は広い範囲で割れが見られたが、沖合への流出の程度は2017年と比べて小さく、7月以降は宗谷海岸沿岸の海氷に変化は見られない。
- ② 2016年及び2017年のような水路状の開放水面は生じていない。
- ③ 2017年と同様に、オングル諸島周辺は、北側の一部を除いて開放水面が広がった。北の浦における多年氷境界は、昨夏（2017/18夏期シーズン）の境界よりも西側に位置している。
- ④ オングル海峡の開放水面は、4月に結氷し、氷厚を増している。9月後半時点の氷厚は90～120cmであり、昨年同時期よりも約10cm厚い。
- ⑤ 9月下旬に、しるべ島東及び見晴らし東ポイントで調査を実施した。
- ⑥ 昭和基地周辺の積雪深は2017年と同程度で推移している。

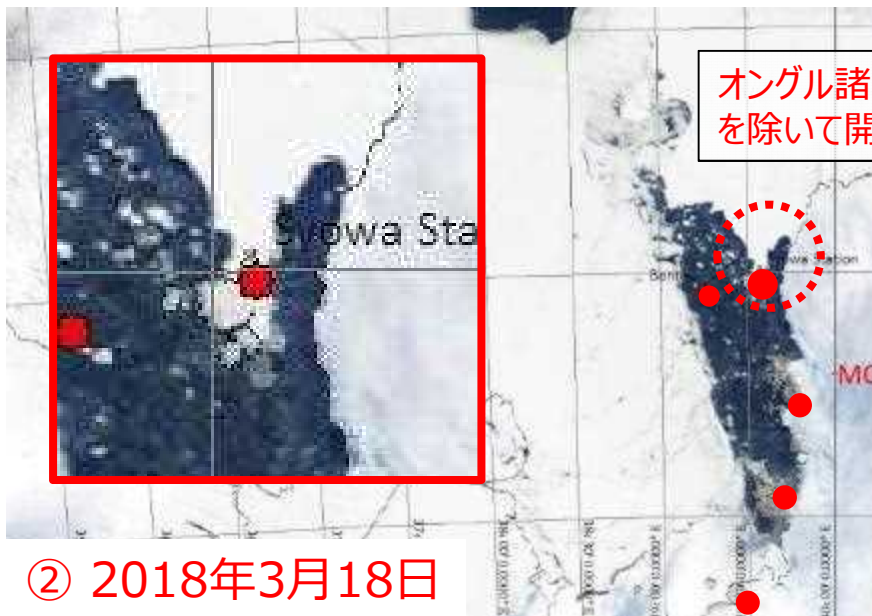
①リュツォ・ホルム湾内の定着氷の推移（極夜入り前：可視画像）



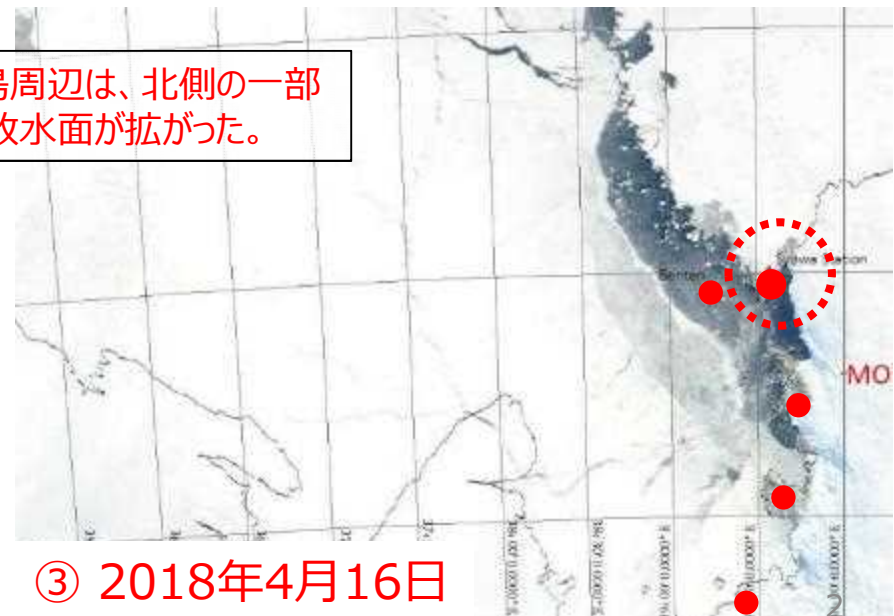
(参考)2017年4月25日



① 2018年2月18日

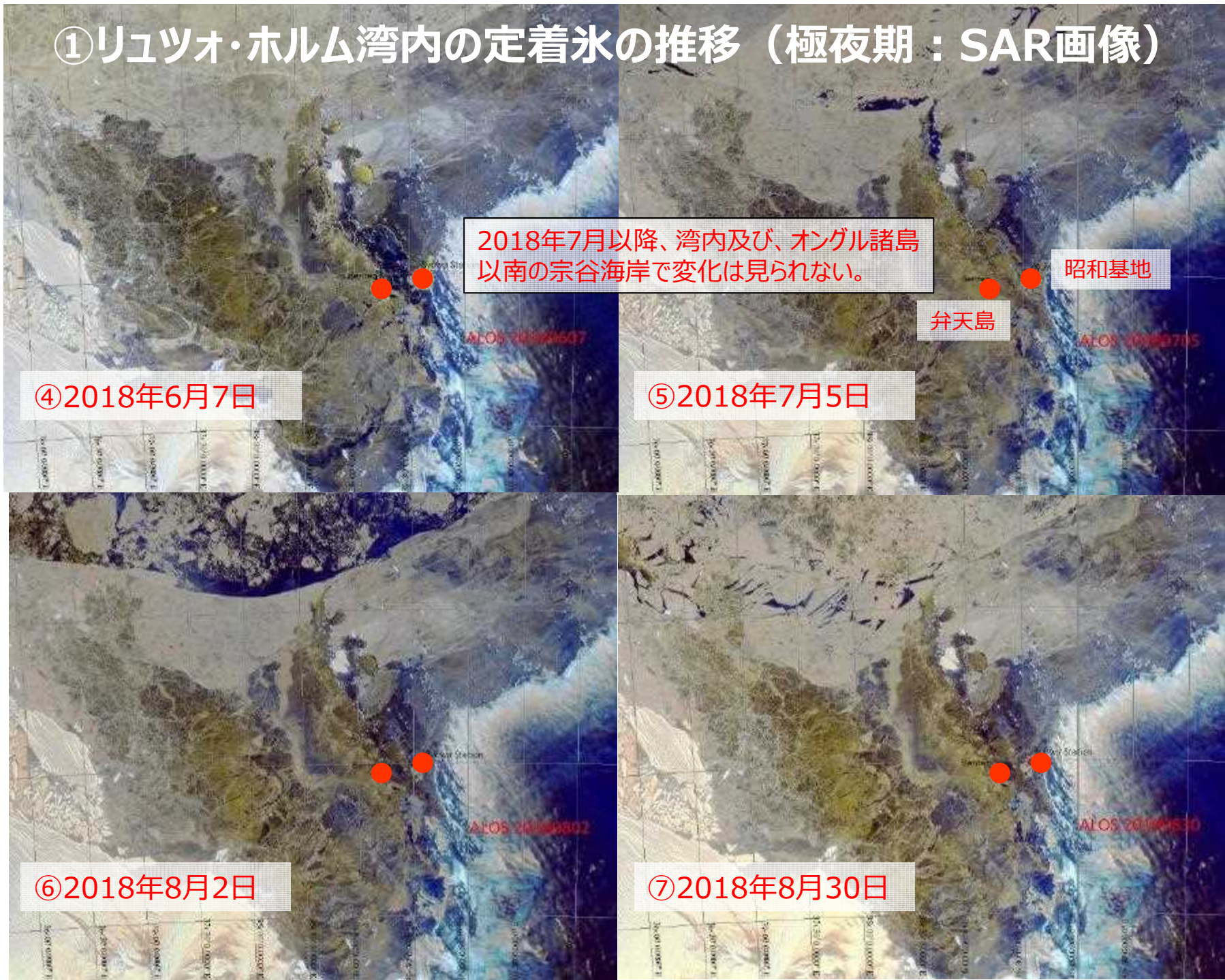


② 2018年3月18日

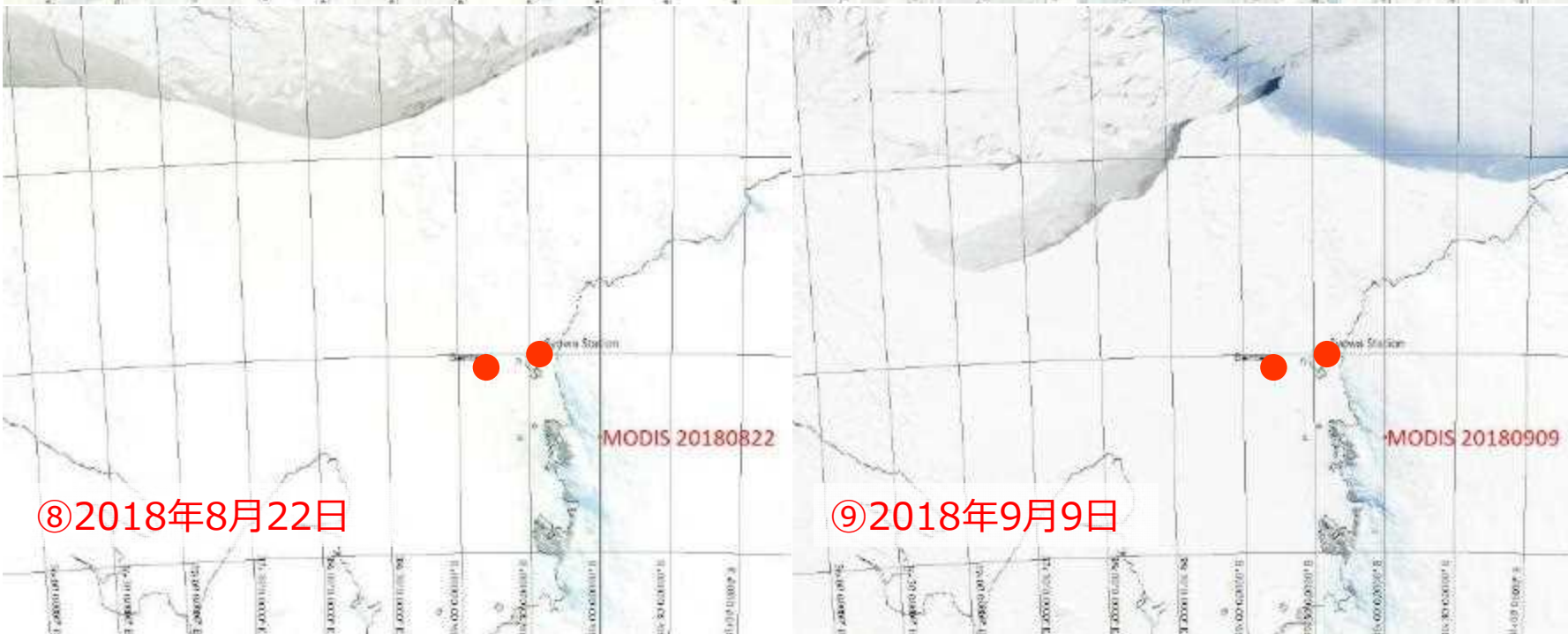


③ 2018年4月16日

①リュツォ・ホルム湾内の定着氷の推移（極夜期：SAR画像）



①リュツォ・ホルム湾内の定着氷の推移（極夜明け後：可視画像）



③北の浦の多年氷境界位置

59次越冬隊が実測した多年氷境界



③北の浦の多年氷境界位置

2018年9月7日高解像度可視画像

59次越冬隊
とつきルート

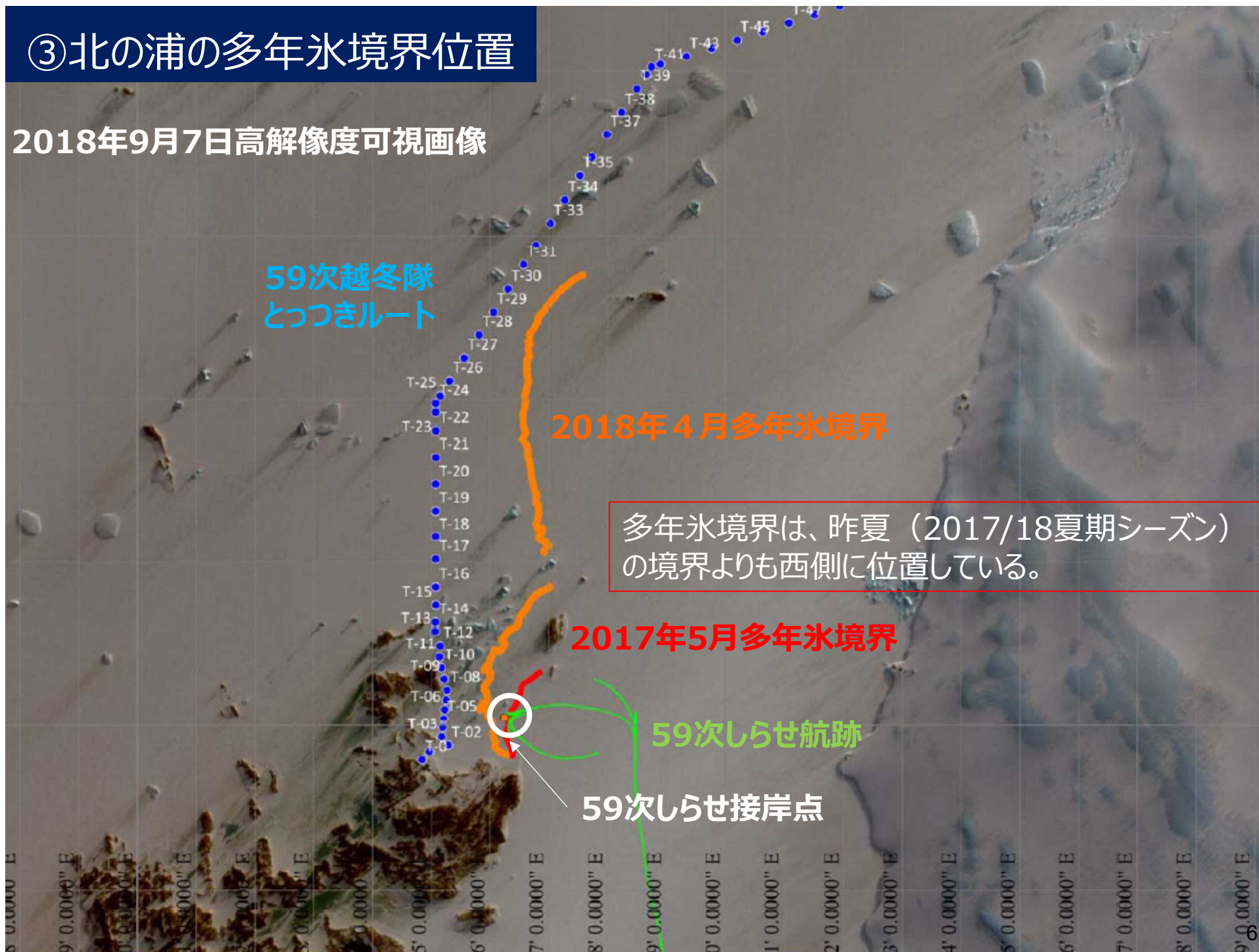
2018年4月多年氷境界

多年氷境界は、昨夏（2017/18夏期シーズン）
の境界よりも西側に位置している。

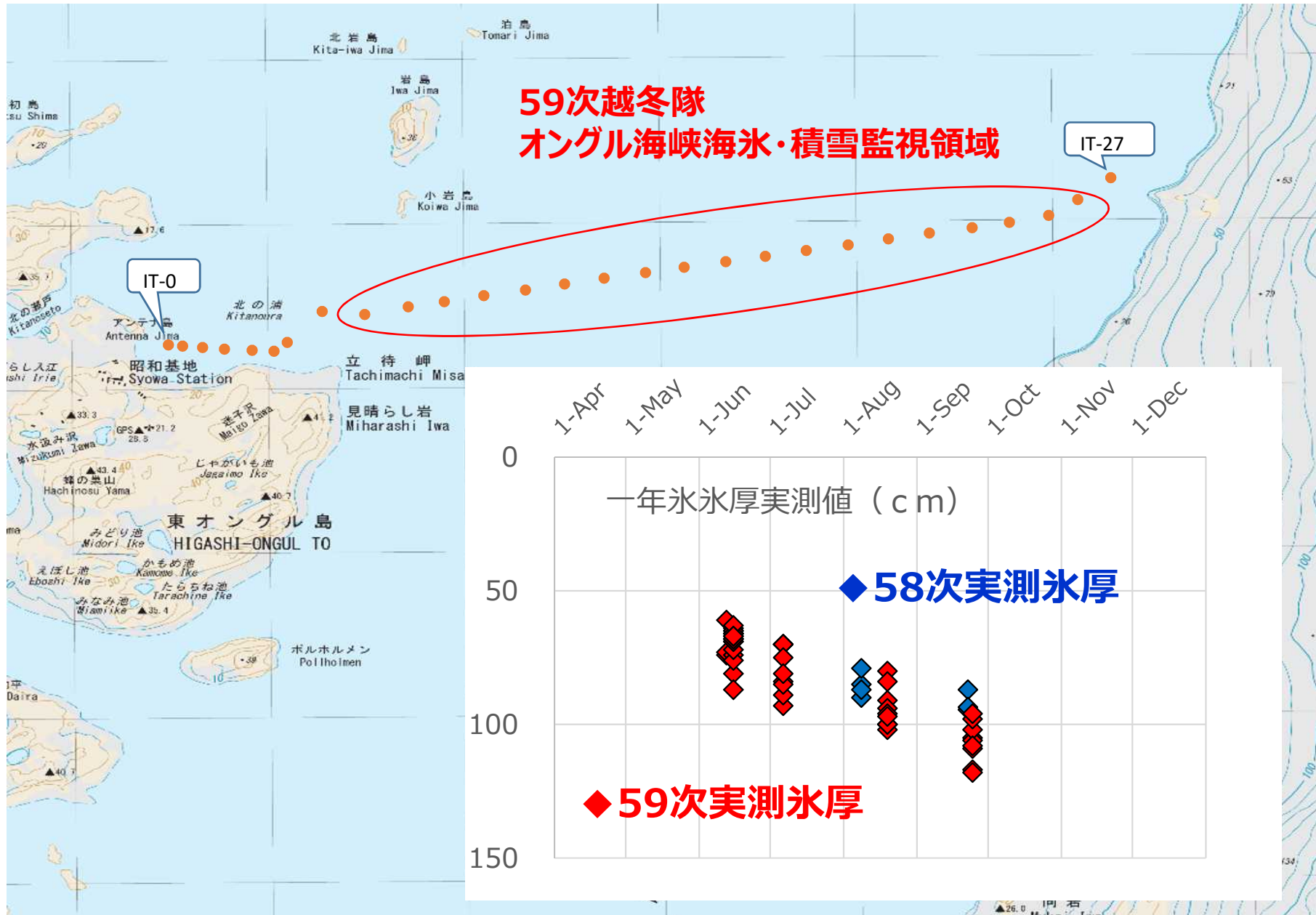
2017年5月多年氷境界

59次しらせ航跡

59次しらせ接岸点



④ オングル海峡の海氷厚・積雪監視



⑤59次越冬隊海水状況調査点 (2018.09.25現在)

